

# 要 請 書

平成29年10月24日

**厚木基地騒音対策協議会**

## 厚木基地騒音対策協議会

### 会員

神奈川県知事	黒岩祐治(会長)
横浜市長	林文子
相模原市長	加山俊夫
藤沢市長	鈴木恒夫
茅ヶ崎市長	服部信明
大和市長	大木哲
海老名市長	内野優
座間市長	遠藤三紀夫
綾瀬市長	古塩政由
町田市長	石阪丈一

神奈川県議会議長	佐藤光
神奈川県議会議員	藤代ゆうや
神奈川県議会議員	京島けいこ
神奈川県議会議員	谷口かずふみ
神奈川県議会議員	菅原直敏
神奈川県議会議員	藤井克彦
横浜市会議長	松本研
相模原市議会議長	沼倉孝太
藤沢市議会議長	松下賢一郎
茅ヶ崎市議会議長	白川静子
大和市議会議長	木村賢一
海老名市議会議長	森下賢人
座間市議会議長	京免康彦
綾瀬市議会議長	武藤俊宏
町田市議会議長	吉田つとむ

## 顧問

参議院議員

島村 大

参議院議員

松沢 成文

参議院議員

佐々木 さやか

参議院議員

牧山 ひろえ

参議院議員

三原 じゅんこ

参議院議員

三浦 信祐

参議院議員

真山 勇一

参議院議員

中西 健治

平成 29 年 10 月 24 日

殿

厚木基地騒音対策協議会

会長（神奈川県知事）

黒 岩 祐 治

厚木基地における米空母艦載機の夜間連続離着陸訓練による航空機  
騒音の解消等に関する要請

厚木基地周辺住民は、航空機騒音により、長年にわたり堪え難い苦痛を強いられており、神奈川県及び基地周辺市は、かねてより、このような航空機騒音問題の抜本的解決を求めてまいりました。

その結果、騒音被害の主な原因である空母艦載機の厚木基地からの移駐が日米両国政府間で合意され、今、ようやく実現しようとしています。空母艦載機移駐は、騒音問題の解決に向けた厚木基地周辺自治体の悲願であり、着実に実施されなければなりません。

一方で、恒常的訓練施設については、平成18年5月の在日米軍再編合意では移駐の前提とはされていないものの、いまだに設置に至っていません。

厚木基地周辺住民は、これまでの騒音訴訟でも受忍限度を超えているとされた騒音被害や、墜落、部品落下、不時着等の事故の不安にさらされ続けています。

特に、空母艦載機が行うNLP<sup>(注1)</sup>等の着陸訓練時の騒音は想像を絶するものであり、今年9月、厚木基地で約5年ぶりに着陸訓練が4日間にわたり行われ、周辺住民が耐え難い苦痛を強いられたことは記憶に新しいところです。

長年にわたり基地負担を負ってきた方々が、このような騒音被害を受けることは二度とあってはなりません。

ついでには、厚木基地騒音対策協議会では、一日も早い騒音問題の抜本的解決を図るため、国の責任において、特に次のことを早急実現するよう要請いたします。

また、文書にてご回答くださいますよう併せてお願いいたします。

注1：NLP・・・Night Landing Practice の略。

## 1 早期かつ確実に空母艦載機の移駐等を実施するとともにきめ細かく情報提供を行うこと

- (1) 貴職におかれては、過大な基地負担を負っている地元住民の強い思いを受け止め、早期かつ確実に空母艦載機の移駐を完了させるよう、万全の措置を講ずるとともに、移駐が、厚木基地周辺住民の負担軽減に確実につながるものとするよう要請します。
- (2) 移駐の詳細なスケジュールや現在の進捗状況、移駐後の厚木基地や空母艦載機の運用、厚木基地周辺における騒音状況の予測について、「厚木飛行場からの空母艦載機の移駐等に関する協議会」等を通じ、関係自治体に対し、継続的かつきめ細やかな情報提供を行うよう要請します。

## 2 恒常的訓練施設を確保すること

日米両国政府間で選定が合意されている恒常的訓練施設については、貴職の責任において、早急に選定し、必要な施設整備等を進めるよう、また、その見通しについて、速やかに情報を提供するよう要請します。

## 3 空母艦載機による騒音問題の解決に積極的に取り組むこと

貴職におかれては、人口密集地域にある厚木基地周辺住民の深刻な騒音被害の状況を深く認識され、空母艦載機が行う着陸訓練等により厚木基地周辺住民が二度と甚大な騒音被害を受けることがないよう取り組むことを強く要請します。

その実現に向けては、

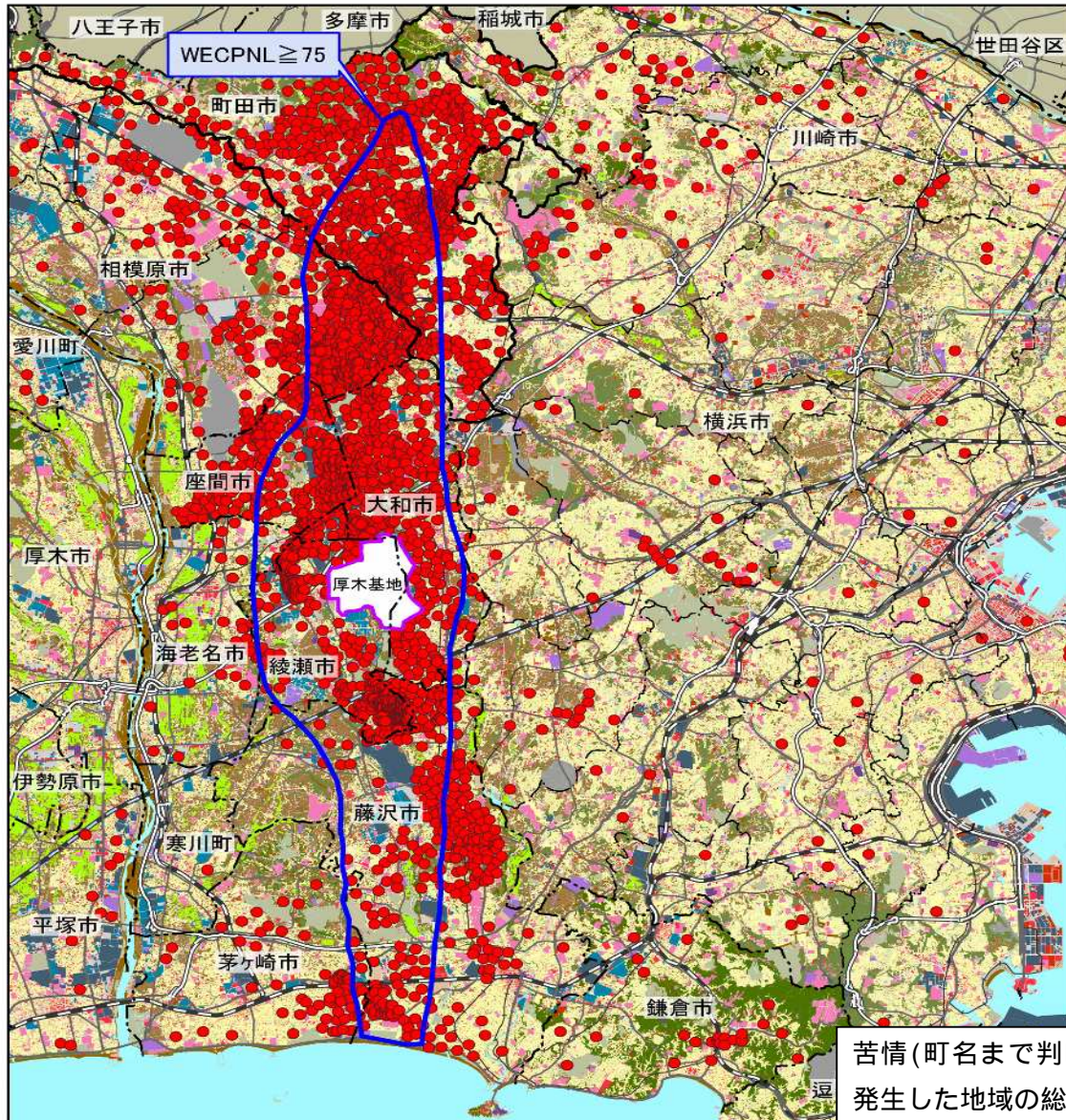
- (1) 恒常的訓練施設確保までの間も、空母艦載機着陸訓練の硫黄島での全面実施に向け、積極的な米側との調整、本協議会が提案している、いわゆる「直結方式」<sup>(注2)</sup>の採用、硫黄島での予備日の設定、支援態勢・施設の一層の拡充・整備等、必要な措置を実施すること
- (2) 住民の苦痛を少しでも軽減・緩和するために、空母艦載機着陸訓練に限らず、激しい騒音の発生が予想される飛行が万が一にもある場合には、貴職の責任において、適時、的確な情報提供を行うとともに、住民への十分な説明を行うこと

注2：直結方式・・・空母艦載機の帰還と着艦を空母と硫黄島の間で直接行うとともに、NLPと通常訓練をすべて硫黄島で行う方式。

## 騒音苦情の発生地点で見る周辺住民への影響

平成 28 年度に、県及び厚木基地周辺 12 市に寄せられた苦情 5,628 件の内、住所地(町名まで)が判明した苦情について、その発生場所を示した(地図上の赤丸 1 つは、町名まで判明した苦情 1 件を表す。)

青い線は、国が実施した騒音調査に基づく WECPNL75 のコンターライン。

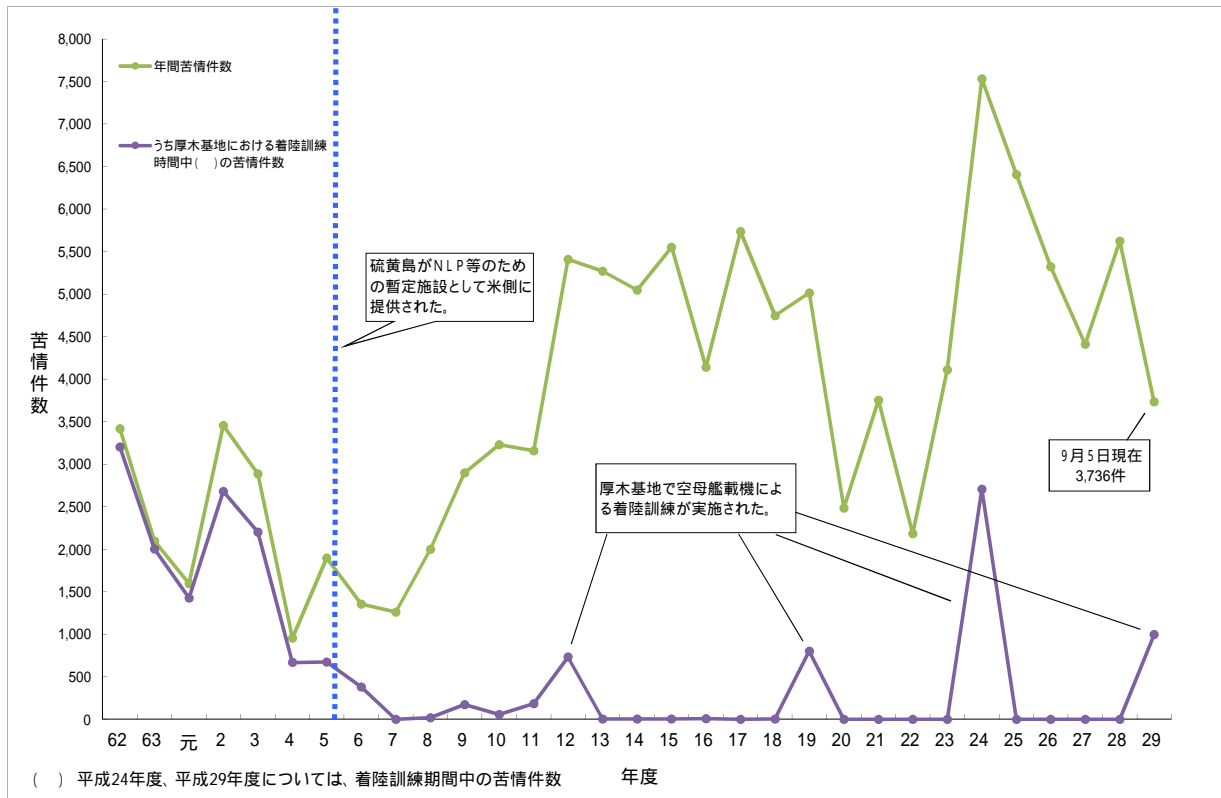


苦情(町名まで判明したもの)が発生した地域の総人口  
約 290 万人  
(平成 28 年 10 月 1 日現在)

- この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の 20 万分の 1 地勢図を複製したものである。(承認番号 平 29 情複、第 357 号)
- 「平成 22 年度神奈川県都市計画基礎調査」及び「平成 24 年度東京都土地利用現況」を用いて作成。苦情発生地域の総人口について、横浜市、川崎市については、平成 28 年 9 月末日現在の統計。地図範囲外の苦情が 9 件ある。

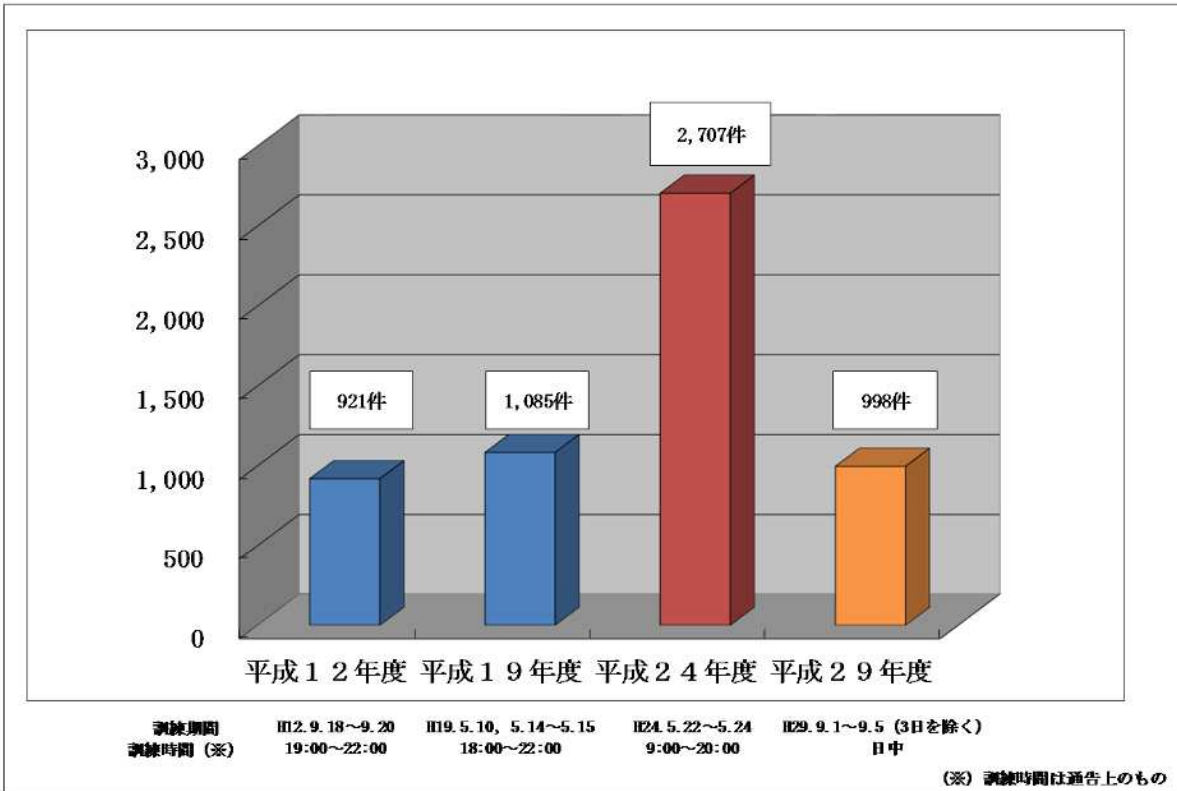
苦情を受けた自治体	大和	綾瀬	相模原	藤沢	茅ヶ崎	海老名	座間	横浜	町田	川崎	鎌倉	平塚	県	合計
苦情件数	341	562	641	263	105	30	342	49	1,837	41	20	8	316	4,555

(グラフ1) 年度別苦情件数及び厚木基地における空母艦載機着陸訓練時間中( )の苦情件数

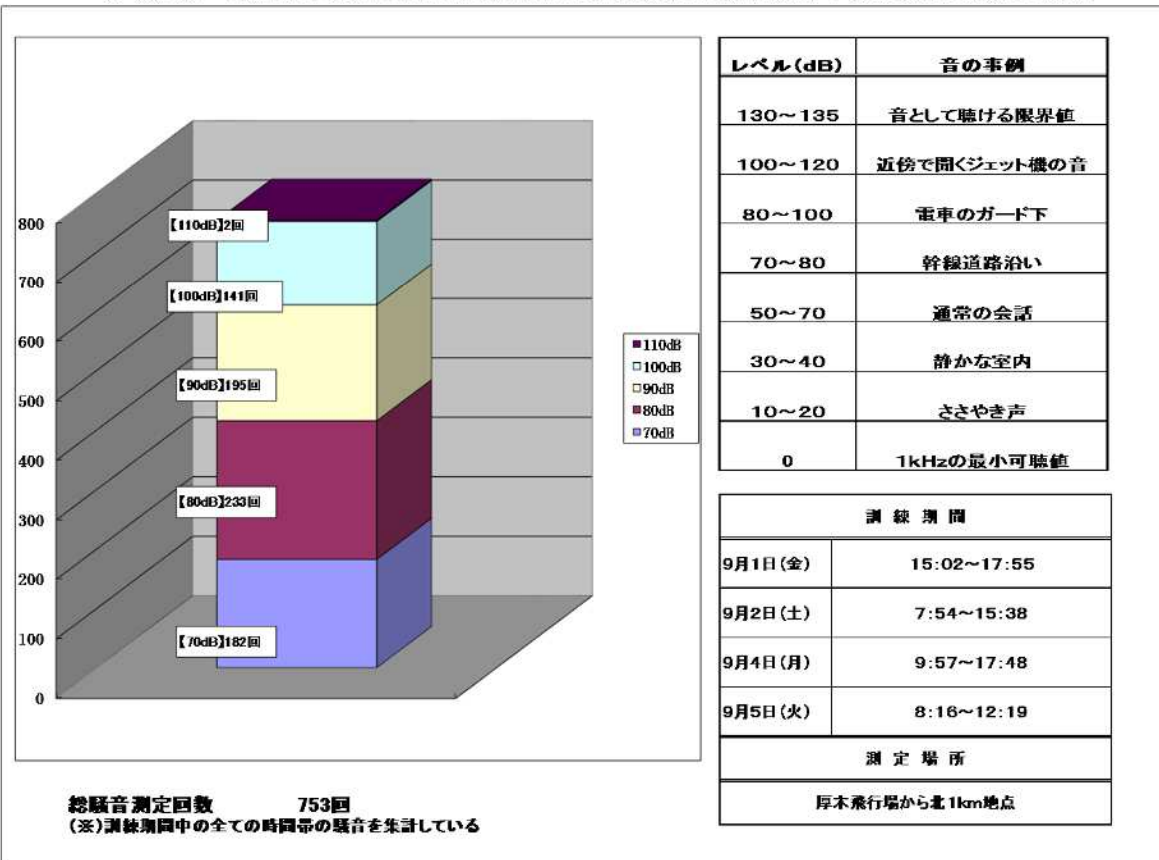




(グラフ2) 厚木基地における空母艦載機着陸訓練期間中の苦情件数



(グラフ3) 平成29年度厚木基地における空母艦載機着陸訓練期間中(※)の騒音測定回数等



## 厚木基地問題に関する近年の状況

平成 14 年 2 月	日米両政府間で、できる限り多くの N L P を硫黄島において実施することが了解された。
14 年 3 月	<b>厚木基地で N L P が実施された。</b>
14 年 5 月	デモンストレーションフライトが廃止された。
14 年 9 月	E A 6 B プラウラーからエンジンのパネルが落下した。
14 年 10 月	<b>厚木基地で N L P が実施された。</b>
15 年 1 月	<b>厚木基地で N L P が実施された。</b>
15 年 3 月	S H 6 0 ヘリから部品が落下した。
15 年 5 月	キャンプ座間所属の U H 6 0 ヘリが上智大学グラウンドに不時着した。
15 年 10 月	厚木基地で N L P を実施するとの通告があったが、初めて硫黄島での日程を延長して N L P を実施し、厚木基地では実施されなかった。
15 年 11 ~ 12 月	F A 1 8 F スーパーホーネット戦闘攻撃機 1 3 機が、F 1 4 トムキャットに代えて、配備された。
16 年 2 月	<b>厚木基地で N L P が実施された。</b>
16 年 7 月	<b>厚木基地で N L P が実施された。</b> 第五空母航空団所属のヘリから銃弾 2 0 0 発が落下した。
16 年 8 月	横田基地所属のヘリが、みなとみらい地区ヘリポート付近に不時着した。
16 年 10 月	F A 1 8 E スーパーホーネット戦闘攻撃機 1 3 機が F A 1 8 C ホーネットに代えて、追加配備された。
16 年 11 月	F A 1 8 C ホーネットからミサイルの羽根の一部が落下した。
16 年 12 月	F A 1 8 C ホーネットから部品の一部が脱落し、藤沢市内の工場の屋根に穴を開けた。
17 年 1 月	<b>厚木基地で N L P が実施された。</b>
17 年 2 月	キャンプ座間所属のヘリが伊勢原市の成城学園グラウンドに不時着した。
17 年 4 月	飛行を終えて厚木基地に戻った第五空母航空団所属の艦載機 2 機からハシゴの一部等の部品が紛失しているのがわかった。
17 年 5 月	<b>厚木基地で N L P が実施された。</b> 厚木基地所属のヘリが部品を紛失した。
17 年 7 月	藤沢市片瀬海岸に厚木基地所属のヘリが不時着した。
17 年 10 月	<b>厚木基地で N L P が実施された。</b> 在日米軍再編協議において、空母艦載機の移駐案が合意され、「日米同盟：未来のための変革と再編」(中間報告)が公表された。
18 年 1 月	約 2 0 年ぶりに住宅防音工事区域の見直しが行われた。
18 年 5 月	在日米軍再編協議において、2 0 1 4 (平成 2 6) 年までの空母艦載機の移駐が合意され、「再編実施のための日米のロードマップ」(最終報告)が公表された。 <b>厚木基地で N L P が実施された。</b> 第五空母航空団所属の C 2 プロペラ機が航空機の部品の一部を落下した。 在日米軍再編に関する基本方針が閣議決定された。

18年 7月	厚木基地第三次騒音訴訟の控訴審判決があった。
18年 10月	<b>厚木基地でNLPが実施された。</b> 第五空母航空団所属のヘリから懐中電灯が落下した。
19年 2月	FA18が部品を紛失した。
19年 5月	<b>厚木基地でNLPが実施された。</b>
19年 6月	横田基地所属のUH1Nヘリが横浜市金沢区内の公園に不時着した。
20年 6月	横田基地所属のUH1Nヘリが相模川河川敷に不時着した。
21年 2月	綾瀬市上空でFA18Eスーパーホーネットからゴム製シールが落下した。
22年 1月	FA18Eスーパーホーネットから金属製部品が落下し、綾瀬市内の民家の一部を破損した。
22年 3月	FA18Cホーネットから金属製部品が落下した。
23年 2月	寒川町上空で第五空母航空団所属のヘリから金属製ブイが落下した。 平塚市内の相模川河川敷に厚木基地所属のヘリが緊急着陸した。
24年 2月	EA6Bブラウラーから機体外部パネルが落下した。
24年 3月	EA6Bブラウラーの後継機として、EA18Gブラウラーが厚木基地に配備された。
24年 5月	<b>厚木基地で、空母艦載機による着陸訓練が実施された。</b>
25年 1月	防衛大臣政務官が来県し、地元自治体に対し、空母艦載機の移駐の遅延等について説明を行った。
25年 2月	引き続き、2014（平成26）年までに移駐することを強く求め、併せて国や米側が、自治体へ情報提供等を行うための枠組みを早期に構築するよう、防衛大臣及び外務大臣へ要請を行った。
25年 5月	「厚木飛行場からの空母艦載機の移駐等に関する協議会」が設立された。
25年 10月	日米両国政府間において、空母艦載機の移駐が、2017（平成29）年頃までに完了することが確認された。
25年 12月	第五空母航空団所属のMH60Sヘリが三浦市三崎に不時着した。
26年 1月	綾瀬市内で、FA18Eスーパーホーネットから金属製部品が落下した。
28年 12月	厚木基地第四次騒音訴訟の最高裁判決があった。
29年 1月	空母艦載機移駐スケジュール等の説明が国からあった。
29年 5月	EA18Gブラウラーが部品を遺失した。 E2Cホークアイが部品を遺失した。
29年 8月	厚木基地第五次騒音訴訟が提起された。
29年 8月	E2Dアドバンスド・ホークアイが岩国基地に飛来したことにより、空母艦載機の移駐が開始された。
29年 8月	FA18Eスーパーホーネットが部品を遺失した。
29年 9月	<b>厚木基地で、空母艦載機による着陸訓練が実施された。</b>

## 住民から寄せられた騒音被害に関する意見

平成28～29年に県及び各市へ寄せられた意見の中から一部について掲載します。

### 航空機の飛行や騒音に関する意見

飛行内容に関する意見

ゴールデンウィークだが、朝から航空機が低空で飛んでいると思われる轟音が続いており、精神衛生上良くない。

立て続けに飛行していて、断続的に騒音が響いている。住宅地の上空ではなく、海の上空を飛ぶなど、配慮してもらえないのか。

操縦席の人の顔が分かるほどの低空で飛行している。

7時前から飛行しており、8時を過ぎてからは飛行間隔が短くなる。特定の場所との往復ではなく、旋回しているような印象を受ける。

ここ数年騒音が激しくなっているように感じる。高校も近くにあり、なぜ市街地の上空を飛ぶ必要があるのかと不思議に思う。

祝日も関係なく飛んでいた。時間も早朝から深夜まであまりにひどい。

厚木基地の上空を米軍機が旋回している。周りには高速道路や煙突もあるので、いつか事故が起こるのではないかと不安に思っている。

酷いときはかなりの勢いでマンションに振動が伝わってくる。連日、部屋全体が地響きのように振動している。

生活被害に関する意見

先日、子どもの学校に行った際に航空機の騒音が気になった。そうした環境の中では、平等な教育を受けられているとは言えないと思う。

乳幼児がいるが、騒音がすると怖いと泣いて食事や睡眠どころではなくなる。住んで3年ほどになるが、引っ越そうと思っている。

涼しくなって窓を開けると騒音で頭が痛くなる。

毎日飛行しているため、仕事が休みの日も騒音に起こされて辛い。

数日間、航空機の騒音が続いている。夫がこの場所に住み続けると言うのなら離婚すら考えられる。

高校生の子どもが、学校で英語のリスニングが出来ないと話している。

テレビの音量を普段の倍以上にしても音声が聞き取れない。リアルタイムで情報が必要なニュースなどでは本当に困る。

騒音が発生していたときに来客があったが、インターフォンに気付かずに出迎えることができなかった。こういうことはしょっちゅうあり、迷惑している。

#### 健康被害に関する意見

騒音により体調が崩れ、仕事を辞めることになった。

病人が家にいるので、ゆっくり休ませてあげたいのだが、騒音がひっきりなしに響くので安らくことができない。

1年前に引っ越してきたのだが、騒音などのストレスから低音障害型感音難聴になってしまい、自宅で療養している。

幼稚園児が道端で耳を塞いでいる姿を見た。小さなころからジェット機の騒音に晒されていたら難聴になってしまうのではないかと心配だ。

#### 情報提供に関する意見

飛行が続いていると、事故への不安が募ってしまう。せめて訓練時間を事前に知らせてもらえれば身構えられる。

今日は特に騒音が続いているように感じる。何か通常と違う訓練をしているのなら教えて欲しい。理由も知らずに騒音が増えるだけではストレスは溜まる一方だ。

毎日ひっきりなしに飛んでいて、眠れずにイライラしている。大まかな飛行スケジュールだけでも公表してほしい。

米軍の訓練スケジュールなどの情報はどこに問合せれば答えてくれるのか。訓練に伴う騒音はある程度仕方のないことだと思うが、さすがに我慢できないときもある。

周囲の人に聞いても、以前は近くでは飛行していなかったという話だ。飛行ルートが変わったなどの情報があれば教えてほしい。

#### 国の住宅防音工事に関する意見

防音工事対象区域外だが、数年前に比べても騒音が増えている。実情にあった対象区域の設定を行ってほしい。

2回住宅防音工事をしたが、全く意味がない。

防音工事の対象区域内に住んでいるが、賃貸マンションということもあるのか対応が遅れている。戸建て住宅に比べて対応が難しいのではないか。

賃貸住宅に住んでおり、半ば強制的に防音工事をやられたが、意味がないと感じる。むしろ外が涼しくて気持ちよく過ごしたい日でも、窓を開ける自由を侵害されているような思いだ。

すでに防音工事を受けた友人が何人もおり、補償の違いが不平等だと感じている。

## 平成 29 年 9 月の厚木基地での空母艦載機着陸訓練に関する意見

低空飛行で家がビリビリと震動するような騒音だ。恐怖を感じる。

部屋の窓を閉めていても、テレビの音もかき消されるほどの轟音で、子どもが怖がって泣いてしまう。

国防のための練習という気持ちもあるが、精神疾患のため音に敏感で、頭痛がする。耳をふさいでも、振動が心臓に響き、とても辛い。

日中だけの飛行としても、夜勤のため日中睡眠がとれず大変不快だ。

騒音で授業が中断され全く授業にならず、学習に支障が出ている。

中学校教員だが、英語のリスニングテストが全く聞こえなかった。

土曜日の朝8時頃はまだ寝ている時間帯であり安眠妨害だ。

車を運転していても、緊急車両のサイレンさえも聞こえず危険だ。

北朝鮮問題のためのスクランブルかと不安になった。何が起きているか分からないと不安になる。しっかりと情報を発信してほしい。

騒音が酷いにも関わらず住宅防音工事区域外なのは納得がいかない。

移駐するという話はどうなったのか。